◆茗渓学園　SDGs 活動・取り組みレポート

1. タイトル
レモネードスタンド

2. 参加者、グループ名
①団体名
茗渓学園生徒会

②学年・氏名
5IB　岩増美澪

3. 活動内容
①問題意識、動機（なぜその活動をおこなったのか、きっかけ）

1. 生徒会が我が校の代表となって、ボランティア活動の推進を行うため
2. 小児がんの啓蒙

日本では小児がんに充てられている公的予算や研究費が欧米に比べ少ない。また大都市に支援が集中し、つくば市のような地方に支援がなかなか行き届いていない。
しかし、このような小児がんをめぐる課題があまり日本社会に広く認識されていない。
私たち中高生に身近な存在だからこそ、現実をより多くの人に発信するために活動を行っている。

②問題解決のために行った内容（どのような活動・取り組みをしたのか具体的に）

校内でのレモネードスタンドの実施。
また桐創祭でもレモネードスタンドを開き、生徒会だけでなく一般生徒のボランティア募集もすることでレモネードスタンドを茗渓の伝統的活動として次世代に引き継げるように努めている。
これまで校内ではレモネードスタンドを 2 回行い、それぞれ 20,991 円、13,454 円と収益を得ることができた。また昨年の桐創祭では 98,787 円の利益をもたらすことができ、これまでに合計 133,232 円の寄付に成功した。これらのお金は全てヒスターズナウつくばさんを通して、NPO 法人日本小児がん研究グループに寄付されるなど小児がんの子を支援するために使われている。
他にも、研究学園駅前で開かれたつくばピンクリボンフェスティバルでのレモネード出店のお手伝いをするなど校内に留まらず、幅広い場面で活動を行っている。

ヒスターズナウつくばとは？
つくばレモネードスタンドはヒスターズナウつくばさんが企画している活動で、小児がんと向き合っている子どもたちを応援することを目的としている。
主に、得た売り上げを小児がんの研究を行っている NPO 法人日本小児がん研究グループに

寄付している。
他にも：

- レモネースタンドの活動を運営している「ヒスターズナウつくば」が企画している小児がんの子どもたちとの家族との交流会を開催する
- 筑波大学付属病院に入院しているこどもたちにおもちゃをプレゼントする

など幅広い活動に活用されています。

③SDGs との関連性（どのゴールに関連する活動か）

3. すべての人々に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに

④SDGs の観点から、今後どのようになってほしいと願っているか

小児がんの現状を校内という枠組みを超えて社会に向けて訴えることで、小児がんに対する理解がもっと深まることを目指して活動を行っている。そして寄付により、治療が確立され小児がんの子がより社会復帰しやすくなるような後押しをしたい。それにより病気のあるなし関係なく、全ての子が平等に質の高い教育を受けられるようになることを願う。

4. 活動・取り組みを通じて感じたこと、学んだこと、自分が成長できたと感じること、問題点・課題などについて

この取り組みを通して、小児がんに関わらず「がん」という病気について深く知ることができた。また土浦第二高等学校や竹園高校の生徒もこの活動に参加しており、レモネードスタンドの取り組みを通して学校の垣根を超えた交流を育むことができた。私はこの活動をきっかけに「自分のために」ではなく、「誰かのために」行動する大切さを認識することができた。特に、活動を終えた後の達成感は格別で他のものとは一線を画すものがある。自分以外の誰かのために汗をかく喜びを生徒会役員で共有できたのは学生時代の貴重な体験として社会に出てからも心に残り続けるだろう。

この活動を私の代で終わらせず、後世にも引き継がれていくような活動にするのが目標だ。

5. 今後の活動予定（あれば）

今後はコロナで妨げられていた小児がんの子との交流を積極的に行っていきたい。そしてレモネードスタンドの収益をその子たちに絵本をプレゼントするために充てるなど、支援の幅を拡大してきたい。

6. エビデンス

活動の写真（参加者の集合写真、活動の様子がわかるものなどを数枚）、成果物（レポート、ノート、ポスター、制作物の写真など）

Lemonade
レモネード
茗溪学園

寄付総額　98,787円
小児がん支援のための
レモネード スタンド
～茗溪学園生徒会～

200円以上
お好きな
ドリンク1本
小児がん支援のための
レモネードスタンド

小児がん支援のための
レモネード スタンド
～茗溪学園生徒会～